

令和3年度 諏訪地域周辺におけるカラス生息状況調査 結果概要



調査の目的と内容

長野県ではカラスによる被害対策立案のための情報を得るために、その生息状況や被害状況の調査を行っています。
令和3年度は、諏訪地域と上伊那地域北部を対象に、カラスの行動範囲や餌場、ねぐら等を把握する調査を実施しました。合わせて、カワウ等の鳥類の生息状況を調査しました。



諏訪地域・上伊那地域北部に生息するカラス

ハシボソガラスとハシブトガラスの2種を確認しました。



ハシボソガラス

主に開けた環境を好むカラスです。
本調査では、農耕地を中心に広い範囲で確認しました。

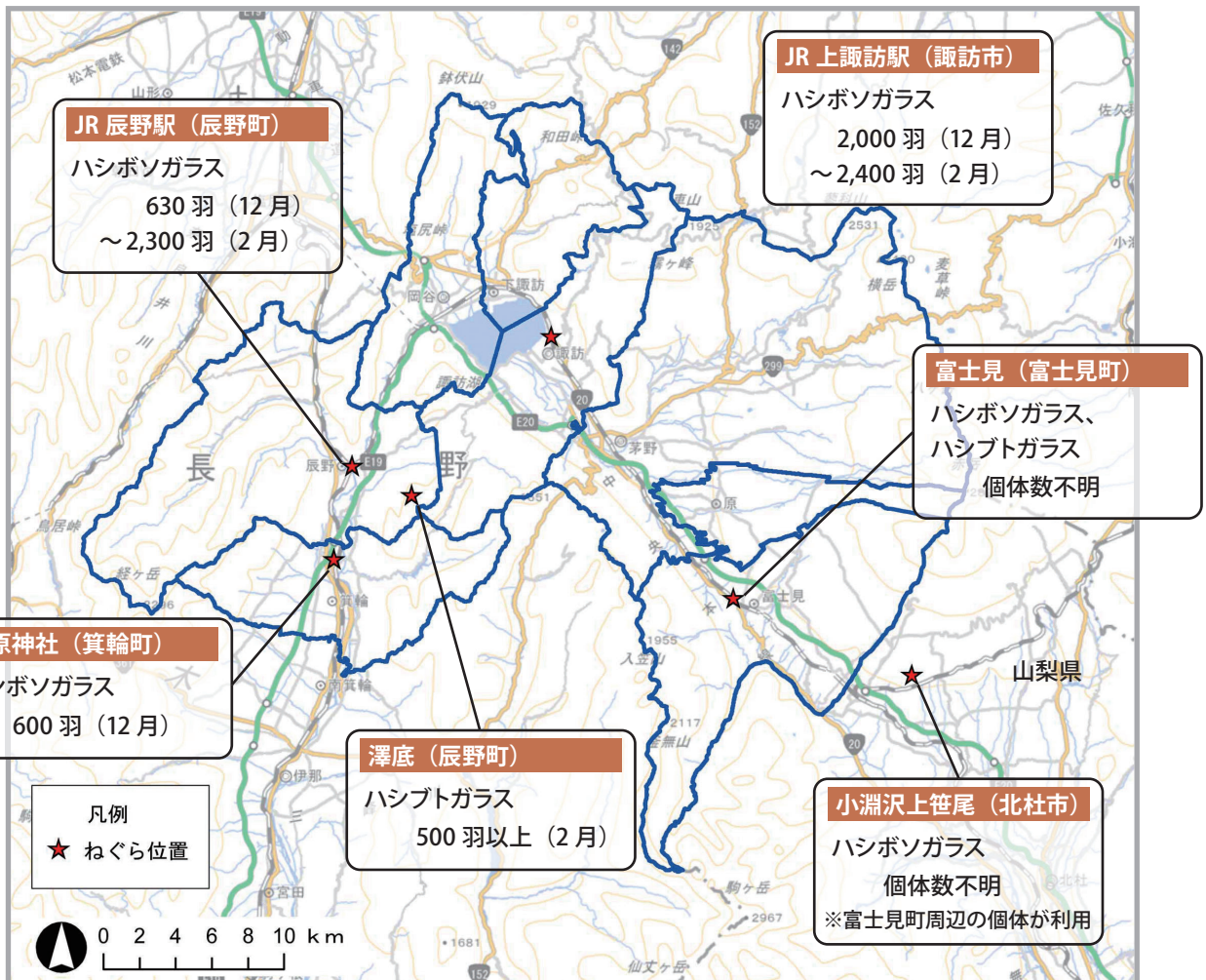


ハシブトガラス

主に森林や都市部に生息するカラスです。
本調査では、山沿いや畜産施設などの限られた場所で確認しました。

調査の目的と内容

諏訪地域と上伊那地域北部で5箇所、諏訪地域に隣接する山梨県北杜市で1箇所の合わせて**6箇所の集団ねぐらを確認**しました。



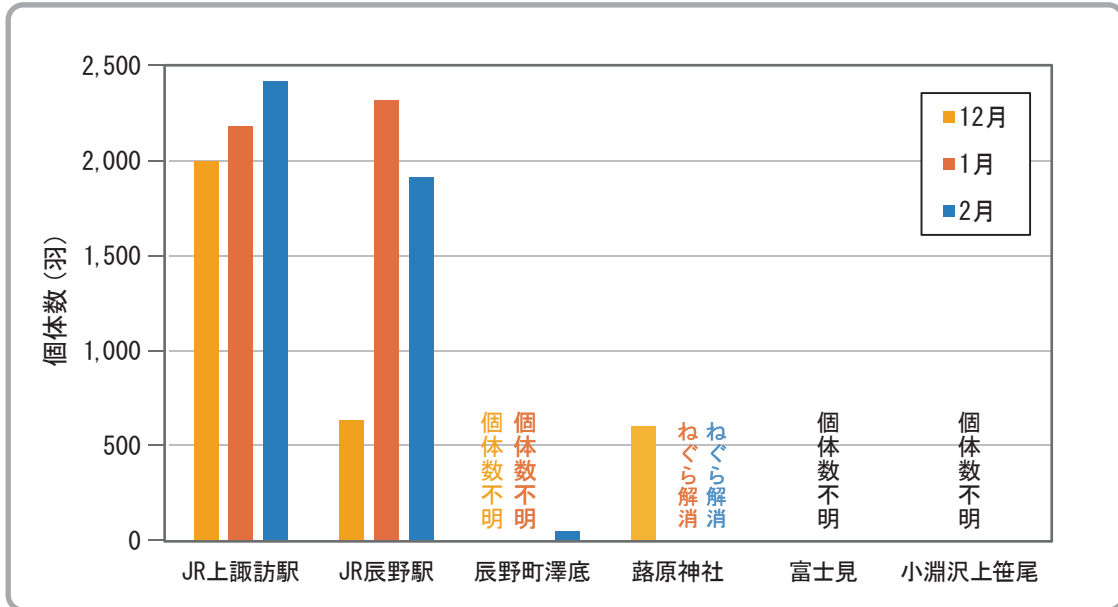
諏訪地域・上伊那地域北部で確認されたカラスの集団ねぐら

諏訪地域周辺におけるカラスの集団ねぐらと個体数



集団ねぐらの特徴

6箇所の集団ねぐらのうち3箇所（JR 上諏訪駅、JR 辰野駅、露原神社）は市街地に形成されていました。残りの3箇所（辰野町澤底、富士見、小淵沢上笹尾）は山林や段丘林に形成されていました。集団ねぐらの個体数は1～2月にかけて最大になり、JR 上諏訪駅と辰野駅では、それぞれ 2,300～2,400羽ほどのカラスが集まっていた。



カラスの集団ねぐら個体数変化



JR 上諏訪駅ねぐら
駅の架線や建物をねぐらとして利用



JR 辰野駅ねぐら
駅付近の架線をねぐらとして利用



露原神社ねぐら
市街地の社寺林をねぐらとして利用



澤底ねぐら
山林をねぐらとして利用

諏訪地域周辺におけるカラスの生活のようす



日中の採食場所

本調査を実施した12～2月は、カラスにとって食べ物が最も不足している時期にあたります。確認したカラスの多くは、収穫が終わった水田や畑、果樹園などの農耕地で採食していました。中には、農地に放置された野菜くずや廃果を採食している個体も確認されました。また、農地に積まれた堆肥や、飼料の置かれた畜産施設などに多くのカラスが集まる様子も確認され、これらの環境が冬季の主要な餌場となっていることが伺えました。



野菜くずを採餌するハシボソガラス
(令和4年1月 富士見町)



堆肥置き場に群れるカラス2種
(令和4年2月 諏訪市)

GPS 発信機による行動追跡

本調査では直接観察と合わせて、ハシボソガラスに GPS 発信機を装着して行動追跡を行いました。追跡個体は JR 上諏訪駅のほか、山梨県北杜市の集団ねぐらも利用するなど、1ヶ月ほどの間に広い範囲を行動していることが分かりました。また、日中は農耕地や堆肥置き場、畜産施設等で過ごしていることが確認されました。



GPS 発信機を装着したハシボソガラスの行動範囲 (2月下旬～3月中旬)

諏訪地域周辺におけるカラスの生活のようす



今回の調査により、諏訪地域周辺のカラスは複数の市町村、ときには県をまたいで広い範囲を行動していることや、農耕地を主な餌場としていることが分かりました。

カラスの被害を減らすには、「カラスを増やす原因を減らすこと」と「広い地域が連携して対策に取り組むこと」の2つが重要です。

農地での対策

農地に廃棄された農作物は、カラスにとって冬季の主要な餌となっています。この農作物を適切に処理することで、カラスが増える原因を減らすことができます。

農作物はそのまま廃棄するのではなく、土中に埋める、確実に摘み取るなどの処置をすることが重要です。また、堆肥置き場などカラスが集まりやすい環境での重点的な対策も必要となります。

広域での連携

カラスは状況に合わせて広い範囲を行動するため、局所的な追い払い等の対策のみでは、根本的に被害を解決することは難しいのが実情です。

カラスが行動範囲とする地域全体が連携することで、より効果的な対策が可能となります。



カラスが群れていた廃果捨て場



市町村をまたいで移動するカラスの群れ

その他の鳥類



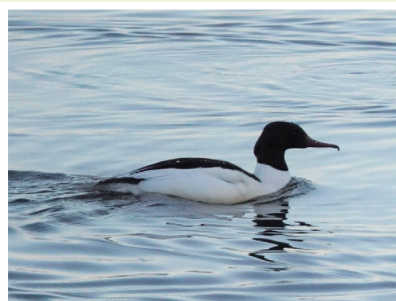
カラス以外に農業被害や生活被害を及ぼす可能性がある鳥類として、カワウ、カワアイサ、ムクドリを確認しました。

これらの鳥についても、引き続き対策を実施していくことが重要です。



【カワウ】

大型の魚食性鳥類で、諏訪地域では漁業被害が報告されています。本調査では諏訪湖を中心に確認しました。



【カワアイサ】

中型の魚食性鳥類で、諏訪地域では漁業被害が報告されています。本調査では諏訪湖を中心に確認しました。



【ムクドリ】

農業被害を及ぼす可能性があるほか、糞害が問題になることもあります。本調査では果樹園で廃果を採食する群れを確認しました。